

事業番号	099
------	-----

平成26年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	粗大ごみ収集事業						担当部	市民生活部							
	会計区分	一般会計			事業類型	一般		担当課	廃棄物対策課							
	事業期間	平成15年度			～	平成30年度以降		担当係	ごみ減量推進係							
	総合計画 分野別計画	主目的	1 安全・環境		5 ごみ対策		2 ごみの減量・分別に対する市民の意識を高めます									
		副目的	5-1													
	予算区分	款	4		項	2		目	2		大	4		中	4	
	根拠法令・個別計画	小牧市廃棄物の減量化、資源化及び適正処理に関する条例、規則														
	目的（対象をどの様な状態にするのか）	粗大ごみの有料収集を実施することにより、粗大ごみの処理に係る税負担の公平化を図るとともに、ごみ処理についてのコスト意識の高揚を図る。また、戸別収集を実施することで市民の排出の利便性を高める。														
	内容（手段）	<p>粗大ごみの収集受付及び手数料収納業務を民間事業者へ委託するとともに、業務が適切に実施されているか、委託事業者に対し、出納検査等を実施している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>粗大ごみ収集受付業務委託 委託先 セントラル・スペーシャル・テクノロジー(株) (単価契約)</li> <li>粗大ごみ処理手数料収納委託 委託先 (株)アオキスーパー他27社 (単価契約) 随時払 繰替払 108円/枚</li> </ul> <p>○平成25年度実施内容 直接経費 (3,914,979円) の内訳 粗大ごみ処理手数料収納委託委託料支払額 565,635円 粗大ごみ収集受付業務委託 3,349,344円</p> <p>○平成26年度の実施内容 平成26年度実施内容 直接経費 (5,050千円) の内訳 粗大ごみ処理手数料収納委託委託 750千円 粗大ごみ収集受付業務委託 4,300千円</p>														
	受益者負担	有 粗大ごみ1点につき1,030円														

		単位	H23決算額	H24決算額	H25決算額	H26予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	5,191	3,552	3,915	5,050	
		正職員	従事者数	人	0.20	0.20	0.10	0.10
			人件費	千円	1,052	1,052	526	526
		その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.10	0.10
			人件費	千円	0	0	0	0
		費用合計		千円	6,243	4,604	4,441	5,576
	対前年比		%		73.7	96.4	125.5	
財源	一般財源	千円	649	-630	-820	236		
	国・県支出金	千円	0	0	0	0		
	その他財源	千円	5,594	5,234	5,261	5,340		

業	活動指標名	単位		H23	H24	H25	H26
	績	粗大ごみ収集受付件数	件	目標	—	—	—
実績				5,249	4,832	5,013	
業	粗大ごみ処理手券販売枚数	枚	目標	—	—	—	—
			実績	5,594	5,356	5,387	
績	成果指標名	単位		H23	H24	H25	H26
			粗大ごみ処理量	t	目標	1,245	1,222
業			目標				
			実績				
績			目標				
			実績				

事業の自己評価	平成25年度の達成状況	市全体ではゴミ処理量の減少に繋がっているが、粗大ごみの処理については、平成24年度と平成25年度では増加している。コスト意識の高揚が図られていると考えられ、粗大ごみの収集受付及び手数料収納業務を委託することにより、効率的な運営が図られている。	
	事業実施における課題	環境センターごみ処理施設の更新に伴い、施設の処理能力に合わせた粗大ごみの定義、処理手数料の見直しを図る必要がある。また、粗大ごみ処理量実績が増加していることから、今後の見込みを検証する中で、必要に応じて目標値を見直す必要がある。	
	事業を縮小・廃止したときの影響	戸別収集を廃止すると、環境センターへの直接搬入のみとなり、自動車を所有していないなどの理由から搬入できなくなる。	
	平成26年度の改善内容	26年度における事業の改善・見直し内容（新規追加事項、廃止・削減事項等）	
	平成27年度の事業の方向性	方向性の判定	維持
	判定理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>有料戸別収集によりコスト意識の高揚が図られ、戸別収集を実施することで市民の排出の利便性も高まっている。</li> <li>事務については、委託による運営が最も効率的と考えられる。</li> </ul>	
	27年度以降の改善案	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境センターのごみ焼却施設更新に伴い、粗大ごみの定義の見直しを図る。</li> <li>また、近隣市町の状況を見ながら、処理料等の見直しを適切に図る。</li> </ul>	

二次評価	方向性の判定	判定理由
	維持	一次評価のとおり。